BURNING!!02
harukaze sayagu

■数年後
■ミネルバ
■ルナマリア私室
ねー分かってる？
あれってレイプよ
レ・イ・プ
あんな事の後に
コクられて
つきあう気になる
私も私だけどさぁー
わかったよ
もー
今度のルナの
誕生日には
ネリートの店に
予約入れとくから
わーほんとー
わるいわねー
この先何回
強請られる事に…
じゃ
集中して！
りょー
かーい♪

シンの味がする…
シン♡ちゃんと気持ちいーのかな？
あーいっぱいカウパー出てきた…
うっ
う
私の口の中に
射精したい？
いいよ…
今日は

ふぁ…
シンの精液…すごい勢いで噴きだしてる…
シンってば
いっぱい出しすぎぃー
そんなにキモチよかった？
次はこっち

うわ…
ルナすごいとろとろ
挿入るよ…
うん
ドキ
ドキ
ドキ
ドキ
ルナ？
挿入ただけでもうイッちゃった…

動いても
大丈夫
だよね？
ぬるぅっ…
あっ…
ま・待って
シン
ぶるっ
次は…
前からして…
今度は
シンの顔見ながら
イキたいから
ね♥

シン
もう挿入て
ふきゅう
ん
ビク
どーしよう
シンが入っただけで
こんなに気持ちいい
ルナって、
いつから
こんなにエッチく
なったんだっけ?
もお……
シンの
せいよ
ああ……

あッ
あんッ
ぢゅぷっ
ぢゅぷっ
ぢゅぷっ
ぢゅぷっ

あっ
シーン
ずぷっ
ずぷっ
ずぷっ
ずぷっ
ふあっ♡
あ♥

モチいっ
キモチいーよぉ
ルナ・・
俺だけの
ルナマリア
あの頃　どこにも
居場所を見つけられず
俺にあったのは
他者との衝突と猜疑心・・・
独りでもいいって思ってた・・・
力さえ手に入れば！って・・・
でも
ルナだけは違ってた
まっすぐに俺を見てくれた
そんなのプラントに行って
初めてだったんだ・・・
ルナがいなかったら・
ルナがいてくれたから
俺は
・
俺も
ルナの膣内

ルナ ここ…いいの？
はぁ
ぬちゅっ
ぬちゅっ
ぬちゅっ
ぬちゅっ
ぬちゅっ
ぐちゅっ
くちゅっ
くちゅっ

シン
もっとお
ふあッ
あぁッ
あッ
あッ
あ〜
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ

ル ルナ… 噛まないでよ
だって！ だって気持ちよすぎて おかしくなりそう なんだもん
私をこんなカラダに しちゃったシンが 悪いんだから… 責任とってよね
んじゃ セキニンとって めとろっかな
そんなの ダメぇ……っ!!
ホントっ
ワガママっ
あ
だよな
あ
ルナは…っ!!
ぐちゅっ
ぶちゅっ
ぬちゅっ
ずちゅっ
ぬるっ
?

ズブッ ズブッ ズブッ
あっ
あっ
ぬちゅっ にちゅ にちゅ ぬちゅう
はぁ…シン… 奥の方 かき回されて すごいよぉ…
俺…もう… 出そう
いいっ ルナ…
射精して シン… いっぱい いっぱい 私の膣内に射精して いいよ
ぬちゅっ ぶちゅっ ぬちゅっ
ぐちゅっ ぶぢゅっ
だから もっと 激しく突いて！ 私のおま こも シンと一緒に イカせてっ!!
射精すよ…!
ドクンっ
ルナぁ…
びゅぷっ びゅくっ びゅ～っ
ぶるっ ぶるっ
あっ あっ
ひあっ♡
あ～っ♡

イくぅっ♡
イくぅ…♡
ふぁあぁ…♡
びくっ
びくっ
ぞくぞくぞくっ……
ぞくぞくっ…!
ドプッ

うぁ
あぁー
ルナの膣内
すごく熱くて絡みついてきてー
搾り取られる

ん…
んっ
んん
んっー
ドクッ
ドク
あっー
気持ち
よかったぁ
死ぬかと
思ったわよ
はぁっ
シンが
どーして
私を好きに
なったのか
ごまかされた
ままだったー
さー答えて！
いーじゃん
そんなの別に…
こら！
寝るな!!
わかった！
ノノって私のこと
好きじゃないでしょ？
単に性処理の道具と
してしか見てないのよー
ゴロ
…そうだよ

俺は…
今はもう
ルナのこと
好きじゃない

…だって俺
今は…
今はルナのこと『好き』じゃなくて
『大好き』
だからさ…
な…
ゴゴゴ
何いきなり恥ずかしーコト言ってんのよ！この子はぁーっ！
なっなんだよ！お前が言えっつったんだろ!!
うるさい！シンのくせに生意気ッ!!
大体が年下のクセに「お前」ってのがナマイキよ！

妹さんや家族のこと…
連合の子のこと…
戦争のこと…
シンがずっとずっと
いっぱい痛がってるの
知ってる……
シンが望む事で
私にできる事なら
何でもしてあげたい
それで
少しでもシンが
楽になれるんなら
逃げ道だとしても
全然かまわない
でも
でもね

ちゃんと言えたらごほーび♥
アメとムチ!

BURNING!! 02